

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター この街きつず学園 放課後等デイサービス (ふ～もん)		
○保護者評価実施期間	2024年11月28日		～ 2024年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年11月28日		～ 2024年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センター 通園との連携 (職員・空間・支援技術など)	支援アプローチの相談 療育・活動を参考にできる 訓練士の助言をもらい支援に生かす	勉強会の充実(事例検討等)
2	地域とのつながり 地域活動への参加	地域ボランティアの皆さんに定期的に読み聞かせをしていたり、地域の学校(合唱部や吹奏楽部)から演奏に来てもらって交流を図っている。地域のお祭りに参加。会社見学をしている。学生ボランティアの受け入れ。地域の学校との連携。	地域のイベントに参加
3	法人内で、幼児期から大人まで繋がりのある連携支援	多角的な情報収集、色々な現場を経験している、幅広い障害特性に対応	他事業所への発信、事業所間での交流

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材育成 安定した支援の提供	女性の多い職場のため結婚・出産等年齢期の職員が多い 人材を育てる	働きやすい環境作り 人材育成研修・勉強会への参加
2	それぞれの特性・発達・ライフステージに合わせた療育の提供 強度行動障害が多いので個別対応が多い	強度行動障害支援の充実 個々に合わせた環境整備が難しい	研修 関係機関との連携
3	定員いっぱい、新しい利用者さんの希望が出て週1回の利用となり、つながりのある療育が難しい現状にある	圏域にある放課後等デイサービスで、個別サポート(強度行動障害等)ができる事業所が少ない	圏域の中で、放課後等デイサービスが不足していることを、連絡会や自立支援協議会で発信していく